(19)日本国特許庁(JP)　(12)登録実用新案公報(U)　(11)実用新案登録番号
実用新案登録第3145718号
(U3145718)
(45)発行日　平成20年10月16日(2008.10.16)　(24)登録日　平成20年9月24日(2008.9.24)

(51)Int.Cl.　　F I
A41B 9/02 (2006.01)　A41B 9/02　B
A41B 11/14 (2006.01)　A41B 11/14　E

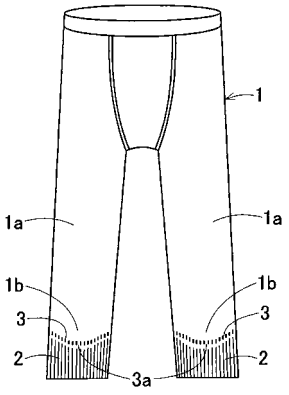
評価書の請求 未請求　請求項の数 10　ＯＬ　（全 6 頁）

(21)出願番号　実願2008-5485(U2008-5485)
(22)出願日　平成20年8月6日(2008.8.6)

(73)実用新案権者　504163221
株式会社レナウン
東京都品川区西五反田八丁目８番２０号
(74)代理人　100075812
弁理士　吉武　賢次
(74)代理人　100091982
弁理士　永井　浩之
(74)代理人　100096895
弁理士　岡田　淳平
(74)代理人　100117787
弁理士　勝沼　宏仁
(72)考案者　佐々木　照　正
東京都品川区西五反田八丁目８番２０号
株式会社レナウン　本社内

(54)【考案の名称】タイツ

(57)【要約】　（修正有）
【課題】着用時に足を通す際に抵抗感がなく、着用後前かがみの姿勢をとっても前身頃部分に圧迫感を与えることのないタイツを提供する。
【解決手段】身頃１ａの足口１ｂに伸縮性に富む布地からなるリング状のカフ２が接続されるタイツにおいて、身頃１ａとカフ２とを縫合線３が側面よりみて前後方向に傾斜して縫製する。
【選択図】図１



【実用新案登録請求の範囲】
【請求項１】
身頃の足口に伸縮性に富む布地からなるリング状のカフが接続されるタイツにおいて、身頃とカフとを縫合する縫合線が側面よりみて前後方向に傾斜して構成されていることを特徴とするタイツ。
【請求項２】
前記縫合線が側面よりみて前側から後側にかけて斜めに上昇するように縫成されている請求項１記載のタイツ。
【請求項３】
前記縫合線が側面よりみて後側から前側にかけて斜めに上昇するように縫成されている請求項１記載のタイツ。
【請求項４】
前記縫合線が側面よりみて直線状とされている請求項１～３のいずれか１項記載のタイツ。
【請求項５】
前記縫合線が側面よりみて曲線状とされている請求項１～３のいずれか１項記載のタイツ。
【請求項６】
前記縫合線が前面よりみて中央が最も低位となる凹湾曲状とされ、後面よりみて中央が最も高位となる凸湾曲状とされている請求項１～５のいずれか１項記載のタイツ。
【請求項７】
前記縫合線が前面よりみて中央が最も高位となる凸湾曲状とされ、後面よりみて中央が最も低位となる凹湾曲状とされている請求項１～５のいずれか１項記載のタイツ。
【請求項８】
前記縫合線が前面よりみて左右対称形とされている請求項６または７記載のタイツ。
【請求項９】
前記縫合線が後面よりみて左右対称形とされている請求項６または７記載のタイツ。
【請求項１０】
前記縫合線部分での断面形状が楕円形状をなしている請求項６～９のいずれか１項記載のタイツ。
【考案の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本考案はタイツに係り、特に足口にカフが接続されたタイツに関する。
【背景技術】
【０００２】
アンダーウエアのタイツは、身体にフィットさせることと着やすさが要望されることから一般に伸縮性に富む布地を用いて縫製される。
【０００３】
特に足口部分は足首にフィットさせるためゴム編み等一層伸縮性に優れたリング状の布地（カフ）をタイツの身頃に縫着して足口が構成されている。
【０００４】
従来のタイツの足口は、図６に片足側のみを示すように、身頃ａの足口ｂにリング状のカフｃを水平方向に直線状の縫合線ｄにより縫着されている。
【０００５】
しかして上記従来の構造によるタイツでは、足口ｂの広さはカフｃを縫着している縫合線ｄの周長によって制約されるので足を通す際に拡張されず、抵抗感を生じて履きにくい一方、上記のように縫合線ｄの部分に足が通りにくいためタイツの身頃ａが引っ張られてやはり履きにくいことはいなめない。
【０００６】

特に着用後、前記カフｃの縫合線ｄの部分が抵抗となって前方にかがんだとき前身頃の膝の周辺が引っ張られ、不快な圧迫感を与えるという問題点があり、やはり着用感に欠けるものであった。

【特許文献１】実開昭４７－３２２１３号公報

【特許文献２】特許第３１９２３２５号公報

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【０００７】

本考案は、着用するとき足を通す際に抵抗感がなく、また着用後前方へかがんでも前身頃部分に圧迫感を与えることを解消し、足首の動きに対してもスムーズに順応して身体に無理なストレスを与えることのないタイツを提供することを課題としている。

【課題を解決するための手段】

【０００８】

上記課題を解決する手段として本考案は、身頃の足口に伸縮性に富む布地からなるリング状のカフが接続されるタイツであって、身頃とカフとを縫合する縫合線が側面よりみて前後方向に傾斜して構成したことにある。

【０００９】

上記傾斜の方向は、縫合線が側面よりみて前側から後側にかけて上昇する形態と、側面よりみて後側から前側にかけて上昇する形態の２態様を含む。

【００１０】

上記縫合線は側面からみたとき直線状、曲線状のいずれかを選択することができる。

【００１１】

前記縫合線を、前面よりみて中央が最も低位となる凹湾曲状とし、後面よりみて中央が最も高位となる凸湾曲状とすることが好ましい。

【００１２】

そして上記縫合線の湾曲形状を前面、後面よりみて左右対称形とすることが好ましい。

【考案の効果】

【００１３】

本考案によれば、身頃の足口に対しカフを斜めの縫合線により縫着してあることにより縫合線の周長が長くなり、これによりタイツを着用するとき縫合線がネックになって抵抗になることなく、スムーズに足を通すことができる。

【００１４】

また着用したのちにおいても縫合線が足首を締め付けることがなく、楽な履き心地が得られると同時に縫合線が足首になじむので一層良好なフィット感を得ることができる。

【００１５】

前記縫合線を側面よりみて前側から後側にかけて上昇するよう傾斜する構成とすれば、前身頃が長くなり、前かがみの姿勢をとったとき前身頃部分にゆとりが生じて十分に身体の屈曲に追従し、膝に圧迫感を与えることが防がれる。

【００１６】

また縫合線の傾斜が足首にマッチするので足首の動きに対してもよく追従し、足首をスムーズに動かすことができる。

【００１７】

前記縫合線を側面よりみて後側から前側にかけて上昇するよう傾斜する構成とすれば、着用時に足を通すとき足先が縫合線に引っ掛ることがなく、スムーズに挿通することができる。

【００１８】

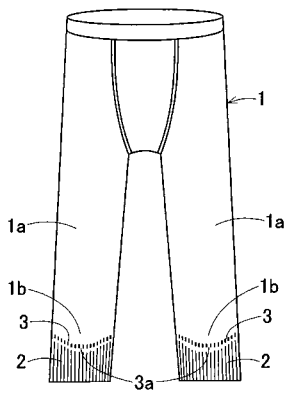
また縫合線を前面側、後面側から見たとき左右対称形の湾曲線状とすれば、着用したとき縫合線が脛やふくらはぎの膨みに対し無理なく沿うようにフィットし、脛に圧迫感を与えることがない。

【考案を実施するための最良の形態】

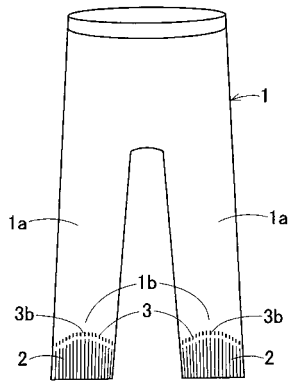
【００１９】
図１は本考案によるタイツの一実施形態の正面図を、図２は同背面図を示し、図３は同要部の側面図を示しており、タイツ１の身頃１ａの足口１ｂには伸縮性に富む布地からなるリング状のカフ２が縫着して接続されている。
【００２０】
前記タイツ１の身頃１ａとカフ２とを縫合する縫合線３は、側面よりみて前側（図３（Ａ）の左側）から後面（図３（Ａ）の右側）にかけて斜めに上昇するよう傾斜して縫合されている。
【００２１】
この縫合線３は、側面よりみて直線状または曲線状とされる。またこの縫合線３は、前面側からみて中央部３ａが最も低位となるよう凹湾曲状となり、後面側からみて中央部３ｂが最も高位となる凸湾曲状となっており、この縫合線３部分の断面形状が楕円形となっている。そしてこの縫合線３は正面よりみて左右対称形とすることが好ましい。
【００２２】
したがって身頃１ａに対するカフ２の縫合線３が楕円形をなして前後方向に傾斜しているので縫合線３の周長が従来のものに比して長くなり、その結果タイツ１を着用するとき足を通しやすく、抵抗感もなしにスムーズに通すことができる。
【００２３】
着用したのちも縫合線３が足首を締め付けるような圧迫感を与えることが解消されると同時に縫合線３が足首によくなじみ、履き心地をよくする。
【００２４】
着用後は、身頃１ａの前側が長くなるので、前かがみの姿勢をとっても膝に突っ張り感を与えることがなく、スムーズに前かがみ姿勢をとることができる。
【００２５】
前記カフ２を逢着する縫合線３の傾斜方向を、図５（Ａ）、（Ｂ）に示すように身頃１ａの前側では高く、後側では低くなるようにすれば、楕円形状をなしている縫合線３に直交する方向から足を挿入することになるのでタイツ１の着用時に足を通しやすくなる。また着用後は足首に無理な圧迫感を与えることがない。
【００２６】
したがって前記図３または図５のいずれのタイプを選ぶかはタイツのデザインに併せ考慮して選択することができる。
【００２７】
したがって前記図３または図５のいずれのタイプを選ぶかはタイツのデザインに併せ考慮して選択することができる。
【図面の簡単な説明】
【００２８】
【図１】本考案によるタイツの一実施形態を示す正面図。
【図２】同、背面図。
【図３】図１、図２におけるカフの縫合線の形態を示し、（Ａ）は側面図、（Ｂ）は正面図。
【図４】図１のタイツに足を通した状態を示す説明図。
【図５】本考案の他の実施形態を示し、（Ａ）、（Ｂ）は図３の（Ａ）、（Ｂ）相当図。
【図６】従来のカフの縫着形態を示す側面図。
【符号の説明】
【００２９】
１　タイツ
１ａ　身頃
１ｂ　足口
２　カフ
３　縫合線

３ａ　低位部
３ｂ　高位部

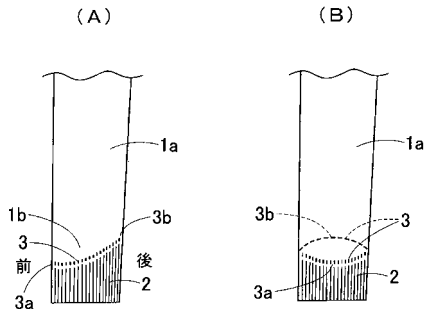
【図１】



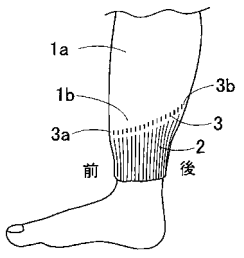
【図２】



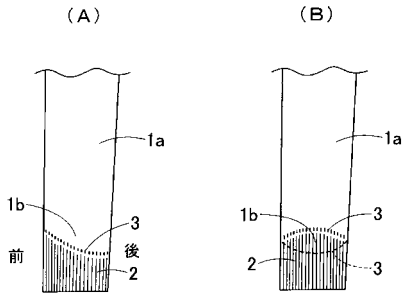
【図３】



【図４】



【図５】



【図６】

